

請願

●公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願

◎請願者

全日本年金者組合

松前班長 大西 信吾

紹介議員 稲田 孔

【論点】 現状では年金生活者の暮らしは厳しく、デフレ傾向が続く中では物価が下がっても年金を下げるべきではない。

・年金財源の緊迫状況打破には物価にスライドもやむを得ず、将来世代への過重負担の軽減も考慮すべきでは。

(反対多数で不採択)

●最低賃金時給1000円の実現と中小企業支援策の拡充を求める請願

◎請願者

2012年国民春闘愛媛

共闘会議

議長 田福 千秋

紹介議員 稲田 孔

【論点】 愛媛の最低賃金は全国的に下位のほうで労働者の暮らしは大変だ。

段階的引き上げが急がれる。

・経営側では急激な賃金引上げは企業経営に多大な影響を与え雇用者の減少や労働環境の悪化につながるのでは。

(反対多数で不採択)

●伊方原発を認めないことを求める請願

◎請願者

平和と民主主義、くらしを守る愛媛県民運動各界連絡会議

議長 田福 千秋

紹介議員 稲田 孔

【論点】 福島原発事故の検証もなし。新たな安全基準の見直しもいまま再稼動してはならない。

・代替エネルギーの確保など懸念事項もある中で再稼動不許可の決断は難しいのでは。

(反対多数で不採択)

議員提出議案

●「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書

東日本大震災のような大規模自然災害時には、「非常事態宣言」の発令により政府主導のもとに震災救援と復興に対処すべきところ現行法では限界がある。国家的緊急事態を乗り切り国民の生命財産を守るためこの法律の早期制定を強く要望するものである。

【論点】 「非常時」「平時」の解釈が分かれるところだ。現行法の運用で乗り切れると考えるかどうか。

(賛成多数で採択)

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 他 関係閣僚

提出先

研修報告

議会広報特別委員会

◎日程

2月13日～14日

◎目的

議会広報のレベルアップ

(1日目)

●研修地

香川県三木町



●研修結果

三木町は、人口 約2万8千人、面積 約76平方km

高松市とさぬき市に隣接した緑豊かな町。表紙に地元有名人を掲載するなど、住民にとって読んでみたいと思える議会広報作りに関心する姿にも共感を覚えた。

広報委員会の裁量として発行ごとに変革を試みるなど、驚きと共に良い広報紙にしようとの意気込み、学ぶ事が多くあった。

(2日目)

●研修地

高知県越知町

●研修結果
越知町は、標高300～900mの中山間地域
人口 約6千4百人、面積 約110平方km

仁淀川のお膝元「神秘とロマンの森」がキャッチフレーズのこの町は、まさにたくましさに溢れている。

賞の栄を受けている名立たる町でもある。

1枚の写真への執念や行動力に驚き、妥協を許さない姿勢にも大いに感化された。

また、広報委員の意欲・団結力がレベルアップにつながることも学んだ。

四万十町の方々も同席して意見交換ができた充実の研修会となった。

★今回の研修を、今後の当町の取り組みに活かしていきたい。

